

【お知らせ情報】

「国際顧問」と「国際エキスパートグループ（IEG）」について

2013年12月24日

技術研究組合 国際廃炉研究開発機構（IRID）

国際廃炉研究開発機構は、国内外からの叡智を結集する目的の一環で、「国際顧問」および「国際エキスパートグループ（IEG）」を設置しております。

このほど、「国際顧問」につきまして、全顧問との契約等が整いましたので、お知らせいたします。

なお、もう一つの「国際エキスパートグループ（IEG）」につきましては、既に、第1回会議を2013年9月に開催しておりますが、改めて、両国際組織メンバーのプロフィール等を、以下の通り、簡単にご紹介させていただきます。

（ご参考）

○「国際顧問」:

当機構（理事会）に対し、国内外の専門家から組織・マネジメント面の助言をもらうために設置した組織。2014年1月に初会合を予定。

○「国際エキスパートグループ（IEG）」:

当機構に対し、技術的助言や提言をもらうため、海外の専門家で構成された諮問機関的位置づけの組織で、東京電力の国際アドバイザーチーム（IAT）を引き継いだもの。2014年2月に第2回会合を予定。

（プロフィール等）

添付のとおり。

以 上

国 際 顧 問

●アメリカ/レイク・バレット氏 (Mr. Lake H. Barrett)



- ・ エネルギー分野における独立コンサルタント。
- ・ NRC 勤務時 (1974～1985)、TMI 事故の上級技術分析官として事故の初期対応に携わる。
- ・ NRC 現地対策ディレクターとして TMI サイト勤務 (1980～1984)、燃料取出し可能時期まで、規制関係業務を指揮。
- ・ DOE で国防 (核兵器) 関係施設のマネジメントに携わり (1985～1993)、環境保護プログラムの責任者。
- ・ 使用済燃料や高レベル放射性廃棄物処分の実施を担当する民生用核廃棄物管理局の責任者。
- ・ DOE 退職 (2002)。

●イギリス/エイドリアン・シンパー氏 (Dr. Adrian Simper)



- ・ 英国 NDA 理事、傘下の International Nuclear Service (INS) 会長。
- ・ BNFL 入社 (2005)、BNFL から NDA への移管とそれに関連する BNFL 再編を通じ、NDA 創設に重要な役割を果たす。
- ・ イギリス及びアメリカの原子力機関における研究開発と技術、プロジェクト管理等戦略的役割を担う。

●スペイン／ルイス・エチャバリ氏 (Mr. Luis E. Echavarri)



- ・ ウェスチングハウス社入社（マドリード、1975）、原子力発電所のプロジェクトマネージャーを歴任。
- ・ スペイン原子力安全委員会（CSN）の Technical Director（1985）、その後コミッショナー（1987）。
- ・ スペイン原子力産業会議議長（1995～1997）。
- ・ 国際エネルギー機関（IEA）理事会の OECD/NEA 代表を務め（1997～）、2003 年に IAEA 国際原子力安全グループ（INSAG）メンバー。
- ・ OECD/NEA 事務局長（1997～）。

国際エキスパートグループ (IEG)

●アメリカノダグラス・チェイピン氏 (Dr. Douglas Chapin)



- ・ 米国 MPR 社（原子力エンジニアリング会社）代表。
- ・ 全米技術アカデミー (National Academy of Engineering) 委員。
- ・ TMI 事故収束、施設クリーンアップの知見を有する。

●アメリカノロサ・ヤング氏 (Dr. Rosa Yang)



- ・ 米国 EPRI (Electric Power Research Institute) Senior Technical Executive。
- ・ 安全解析が専門。TMI 事故対応や解析評価の研究開発の知見を有する。

●イギリスノエイドリアン・シンパー氏 (Dr. Adrian Simper)



- ・ 英国 NDA 理事、傘下の International Nuclear Service (INS) 会長。
- ・ BNFL 入社 (2005)、BNFL から NDA への移管とそれに関連する BNFL 再編を通じ、NDA 創設に重要な役割を果たす。
- ・ イギリス及びアメリカの原子力機関における研究開発と技術、プロジェクト管理等戦略的役割を担う。

●フランス／ジョエル・ピッセルマン氏 (Dr. Joel Pijselman)



- ・ 現 ETC（濃縮技術会社）会長（元アレバ副社長）。
- ・ ラ・アーグ工場（再処理工場）長などを歴任。廃棄物処理・処分戦略の立案支援を期待。

●ウクライナ／ニコライ・スタインベルク氏 (Mr. Nikolai Steinberg)



- ・ 独立コンサルタント。
- ・ チェルノブイリ原子力発電所の廃止措置戦略に携わる。事故後の地域との信頼回復戦略の立案支援を期待。

●ロシア／アントン・レシュチェンコ氏 (Dr. Anton Leshchenko)



- ・ ソスニー社研究部副部長。
- ・ ハンガリーパクシュ原発の損傷燃料取出作業に携わる。使用済燃料取扱の研究開発を担当。